

テスト名	児童英検					
1. 運営事業団体	日本英語検定協会					
2. テスト作成母体	日本英語検定協会					
3. 主たる受験対象者	日本人EFL児童 (小学生中心で最も多く受験しているのは8歳/小学2年生)					
4. 目的	(1) 児童の英語能力の調査・研究, (2) 「英語を学習する児童」の育成					
5. 構成概念の構成	Listening					
6. テストの性質 (テキスト・タスクの性質など)	<ul style="list-style-type: none"> ・タスク: 児童向けの「ゲーム感覚」のリスニングテスト ・ペーパーテスト(グループ受験の場合) / オンラインテスト(個人受験) ※オンラインテストの場合は、ラーニング(ドリル・ゲーム)も可能。 ・マテリアル: 冊子をオールカラーにすることで、児童の興味を引くことができる。 ・主観問題: 子どもたちが自分の考えや印象に基づいて積極的に自己表現をする主観問題を独自の方法で出題する。 ・解答方法: 英語を聞いてそれに合ったイラスト・音声に○をつける方法で、マークシートではなく児童の発達段階を考慮している(一部は文字による選択) 					
7. 採点基準 (受験の目安)	Gold / Silver / Bronzeの3グレードの受験の目安					
	Bronze: 初めて児童英検を受験する児童対象 ・小学校での英語活動: 1年半～2年程度 ・文字の学習経験なしでも可	Silver: Bronzeを受験して8割以上正解した児童対象 ・小学校での英語活動: 2年半～3年半程度 ・文字の学習: 1～2年程度	Gold: Silverを受験して8割以上正解した児童対象 ・小学校での英語活動4～5年程度 ・文字の学習: 2年半～3年程度			
8. 項目数	<p>テストが3つのグレードに分かれているため、各レベルに適応した内容が多様な形式で出題される。※主観問題(チャレンジコーナー)は採点対象外</p> <table border="1"> <tr> <td>Bronze: 57問 (文字提示なし) 絵に合う文の選択(16)・Yes/Noの選択(5)・3ヒントクイズ(4)・文と対応した絵の選択(8)・絵を見ながら解答(6)・話の説明の選択(6)・会話の内容の選択(4)・命令文の選択(4)・主観問題(4)</td> <td>Silver: 55問 絵に合う文の選択(8)・カテゴリー別の名前探し(3)・適切な応答の選択(4)・3ヒントクイズ(4)・語群に共通する頭文字の選択(4)・文と対応した絵の選択(8)・絵を見ながら解答(6)・話の説明の選択(6)・会話の内容の選択(4)・絵に対応する文字の選択(4)・主観問題</td> <td>Gold: 55問 絵に合う文の選択(13)・カテゴリーの異なる名前探し(6)・適切な応答の選択(6)・文字と対応した絵の選択(6)・絵を見ながら解答(8)・話の説明の選択(3)・会話の内容の選択(4)・絵を見ながら質問文の選択(4)・コマ漫画(4)・主観問題(5)</td> </tr> </table>			Bronze: 57問 (文字提示なし) 絵に合う文の選択(16)・Yes/Noの選択(5)・3ヒントクイズ(4)・文と対応した絵の選択(8)・絵を見ながら解答(6)・話の説明の選択(6)・会話の内容の選択(4)・命令文の選択(4)・主観問題(4)	Silver: 55問 絵に合う文の選択(8)・カテゴリー別の名前探し(3)・適切な応答の選択(4)・3ヒントクイズ(4)・語群に共通する頭文字の選択(4)・文と対応した絵の選択(8)・絵を見ながら解答(6)・話の説明の選択(6)・会話の内容の選択(4)・絵に対応する文字の選択(4)・主観問題	Gold: 55問 絵に合う文の選択(13)・カテゴリーの異なる名前探し(6)・適切な応答の選択(6)・文字と対応した絵の選択(6)・絵を見ながら解答(8)・話の説明の選択(3)・会話の内容の選択(4)・絵を見ながら質問文の選択(4)・コマ漫画(4)・主観問題(5)
Bronze: 57問 (文字提示なし) 絵に合う文の選択(16)・Yes/Noの選択(5)・3ヒントクイズ(4)・文と対応した絵の選択(8)・絵を見ながら解答(6)・話の説明の選択(6)・会話の内容の選択(4)・命令文の選択(4)・主観問題(4)	Silver: 55問 絵に合う文の選択(8)・カテゴリー別の名前探し(3)・適切な応答の選択(4)・3ヒントクイズ(4)・語群に共通する頭文字の選択(4)・文と対応した絵の選択(8)・絵を見ながら解答(6)・話の説明の選択(6)・会話の内容の選択(4)・絵に対応する文字の選択(4)・主観問題	Gold: 55問 絵に合う文の選択(13)・カテゴリーの異なる名前探し(6)・適切な応答の選択(6)・文字と対応した絵の選択(6)・絵を見ながら解答(8)・話の説明の選択(3)・会話の内容の選択(4)・絵を見ながら質問文の選択(4)・コマ漫画(4)・主観問題(5)				
9. 評価・Feedback	児童の達成度を引き出しモチベーションを高めるため、級の可否ではなく正答率(%)で算出する。オンライン版ではその場でフィードバックする。フィードバックには、ステップゾーン・次へのステップ(総合的なコメント)・答え合わせ・テスト分野と理解度(全国の受験者と比較)が示される。					
10. 受験時間	Bronze: 30分	Silver: 35分	Gold: 45分			
11. 受験者数	年間8～9万人程度					
12. 受験料	Bronze: 2,000円	Silver: 2,200円	Gold: 2,400円			
13. ウェブサイト	http://www.eiken.or.jp/jr_step/index.html					
14. その他 (変化・特徴など)	<ul style="list-style-type: none"> ・変化: 2009年度よりペーパー版のみからオンライン版を追加し、個人でも受験しやすい環境を整えた。 ・特徴: 小学校の外国語活動を意識したレベル設定 ・信頼性: 全国規模で実施しているため、客観性の高いデータが得られる。また、受験者には年齢や学習経験が同じ受験者の平均値も示すため、習熟度状況が確認できる。 ・活用例: 一部の中学校の授業の補完や家庭学習を活性化する目的で使用されている。 ・「英語を学習する児童」の理想像: 英語への親しみや興味・関心を持つ。 英語がコミュニケーションの一つの道具になることを認識し、英語を使うことによって世界の人々と交流ができる喜びや楽しさを知る。 世界のさまざまな生活や文化への理解や知識、関心を深め、広い視野を持った国際人を目指す。 積極的に英語でコミュニケーションすることを楽しむ 					
15. コメント・感想	http://www.eiken.or.jp/jr_step/parents/voice/index.html					